

官民がタッグを組んで、北海道の未来づくりへ。

道では、「ほっかいどう応援団会議」のネットワークなどを活用しながら、包括連携協定による協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取り組みを進め、地域活性化につなげます。

▶特集に関するお問い合わせ／道庁官民連携推進室 TEL.011-204-5158

道と企業との取り組み

デジタル・脱炭素化への対応や食・観光といった北海道の強みを活かした取り組みを進めるうえで、企業の皆さんの北海道への想いが大きな力になっています。その一つとして、イオン北海道株式会社には、「イオン道産デー」による道産食品や道内生産者のPRのほか、「ほっかいどう道産WAON」を通じた道の事業への協力など、北海道の未来づくりに貢献していただいています。



地域とともに成長する企業でありたい。

イオン北海道株式会社
営業企画部デジタルマーケティング
東 由佳子さん(右)
合田 瑛さん(左)

当社では毎月、北海道のおいしい“食”を道民の皆さまに提供すべく、各店舗で「イオン道産デー」を開催しています。これは、北海道が進める「どんどん食べよう道産DAY」の取り組みに協力して2008年にスタートし、現在では、テレビなどで旬の道産食品の発信を通じて道内生産者の想いを伝え応援する取り組みとして、お客さまにも大変ご好評をいただいています。また、2021年11月～2022年2月には、北海道主催の「今こそ食べよう北海道」キャンペーンとも連携して、道産食品の

消費拡大を図りました。このほか、電子マネー「ほっかいどう道産WAON」のご利用金額の一部を、北海道遺産の保全活動にお役立ていただいています。「地域との連携」は、当社の経営方針としても重要なテーマの一つです。今後もさまざまな取り組みを通じて、地域とともに成長する企業でありたいと思っています。



イオン道産デーの鮮魚売り場

市町村と企業との取り組み

道内市町村においても、官民連携の取り組みが進んでいます。道が京極町とともに取り組む「北海道の水資源を未来につなぐ価値共創プロジェクト」では、2020年度以降、株式会社セコマ、株式会社北洋銀行からの寄附をもとに、水資源の保全や周辺の整備事業を進めています。



企業との連携により水資源の価値を共有できました。

京極町企画振興課
課長 兼松 良充さん

京極町の「ふきだし公園」周辺は、道の水資源保全地域に指定されているほか、町独自に条例を制定して水資源の保全と活用に取り組んできました。2020年には、セコマ様、北洋銀行様からの寄附により、ふきだし公園の遊歩道や園路の整備、周辺の植樹事業を実施。2021年からは公園内に案内看板を設置し、植樹した一帯の下刈工事を行うなどの整備を進めてきています。環境保全に熱心な企業さんとのこうした連携により、貴重な水資源の価値を

共有することができ、当町をはじめとした地域一帯の魅力を実感していただける機会になったと感じています。



整備したふきだし公園の園路

守りの視点

医療提供体制等の確保と感染症対策の徹底 **2,270億円**

- 医療機関の入院病棟の確保
- 軽症患者宿泊施設の設定・運営
- 自宅療養者への支援
- ワクチン接種の円滑な推進 など



暮らしと経済への影響の最小化 **251億円**

- 生活困窮者の暮らしを支えるセーフティネットの確保
- 生活上の不安や児童虐待などの相談体制の整備
- 新北海道スタイルと認証制度の普及
- 事業継続に向けたBCP(事業継続計画)策定支援等の実施 など



新北海道スタイル

強靱で安全安心な地域づくり **28億円**

- 高校生防災サミットなど防災教育の充実
- 河川・道路など重要インフラの機能強化
- 赤潮被害地域の漁業環境の回復支援
- ヒグマの出没抑制・被害防止対策の強化 など



攻めの視点

本道の強みを最大限に活用した需要の取り込み **901億円**

- 食の戦略品目の開発(落花生・ニンニク・サツマイモ・マイワシ・ニンシ・ブリ)
- アドベンチャーラベルによる新たな価値の創出
- オンライン商談会やスーパー・百貨店と連携した販路開拓・消費拡大 など



コロナ禍からの経済の再生と地域産業の活性化 **3,403億円**

- 中小・小規模企業の新事業展開や販路開拓など新たな取り組みの支援
- 道内への本社機能やサテライトオフィスの誘致
- 専門家派遣等による企業のデジタル化支援
- 地域産業を支える人材の育成・確保 など



健全な成長につながる豊かな社会環境づくり **60億円**

- 若い世代の意見を子育て施策に反映する「ユースプランナー」制度の創設
- 医療的ケア児支援センターの設置
- ヤングケアラーの普及啓発 など



地域の特色を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」 **193億円**

- 地域の脱炭素化に向けた取り組みへの支援
- CO₂排出量の「見える化」による意識醸成や行動変容の促進
- 農林水産業の排出量・吸収源対策
- 道有施設・設備の脱炭素化 など



暮らしや産業へのデジタル化の浸透による「北海道Society5.0」の実現 **18億円**

- 積雪寒冷地におけるドローンの利活用と暮らしのデジタル化の推進
- 生産性向上につながる農林水産業のデジタル化の推進
- 道内IT企業の競争力強化と宇宙関連ビジネスなど未来産業育成
- 外部デジタル人材の活用による市町村のデジタル化支援 など



「グリーン×デジタル」のかけ合わせによる相乗効果

- 再生可能エネルギー活用「次世代データセンター」の誘致と関連産業の集積



ほっかいどう 応援団会議

「ほっかいどう応援団会議」は、北海道にゆかりや想いのある皆さんの知恵や力をお借りしながら、北海道の未来づくりを進めていくためのネットワークです。2019年9月に発足以降、これまで約500の企業・団体、10,000人を超える個人の皆さまにご参加いただいています。

「ほっかいどう応援セミナー」を開催

ポストコロナに向けた官民連携の推進のため、「ほっかいどう応援セミナー」を3月29日にオンラインで開催しました。参加企業・団体に対し、知事や市町長がプレゼンテーションを行い、応援の輪の拡大に向けたトップセールスを行いました。

●新プロモーションムービー公開中!

「ほっかいどう応援団会議」の新プロモーションムービーを公開しています。ぜひご覧ください。



新プロモーションムービー

●応援団メンバーになろう!

「ほっかいどう応援団会議」に参加していただける企業・団体、個人の方(道ファンズ)を募集しています。



▶企業・団体の方は下記にお問い合わせください。道庁官民連携推進室 TEL.011-204-5158

新型コロナウイルス感染症対策

※5月10日現在の情報です。

最新情報はこちら▶



●3回目のワクチン接種のご検討を

3回目接種により、発症予防や重症化予防の効果を高めることができます。2回目接種日の6カ月後から接種が可能です。早めの接種で予防効果を高めましょう。3回目接種後の副反応は、いずれのワクチンも2回目と同様の症状が見られますが、武田/モデルナ社ワクチンについては、2回目と比べて発熱などの症状が少ないことが報告されています。接種後、数日たっても症状が残る場合や不安を感じる方は、医療機関もしくは下記のワクチン接種相談センターにご相談ください。※接種の予約・手続きの方法などは、お住まいの市町村にご相談ください。

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター
0120-306-154
受付時間 9:00~17:30(平日、土・日曜、祝日)

●新北海道スタイルアイデアコンテスト

道では、若年層の皆さんが感染症対策について自ら考え実践するきっかけとなるよう、道内の中高生や大学生などを対象に「新北海道スタイルアイデアコンテスト」を開催しました。感染症対策に取り組むためのアイデアとして応募のあった765件の中から、最優秀賞など10件の受賞アイデアを選定しました。ウェブサイトでは、各受賞アイデアや3月の表彰式の様子を動画で公開していますので、ぜひご覧ください。



3月に行われた表彰式



新北海道スタイルアイデアコンテスト

第39回 全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」

全国都市緑化フェアは、1983年から毎年、全国の持ち回りで開催されている国内最大級の花と緑のイベントです。ことしは、恵庭市花の拠点「はなふる」周辺をメイン会場、道内32カ所の公園や庭園などを協賛会場として、北海道で開催します。●開催期間:6月25日(土)~7月24日(日) ●開園時間:9時30分~17時30分 ●メイン会場:恵庭市花の拠点「はなふる」(道と川の駅花ロードえにわ隣) ※JR恵庭駅東口から無料シャトルバス運行



メイン会場「はなふる」

お問い合わせ／第39回全国都市緑化北海道フェア実行委員会事務局 TEL.0123-29-5983



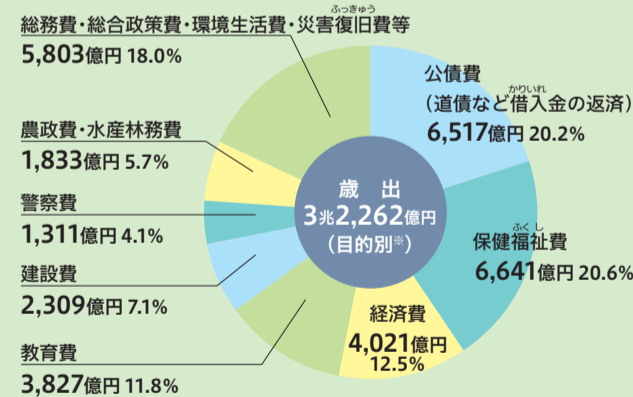
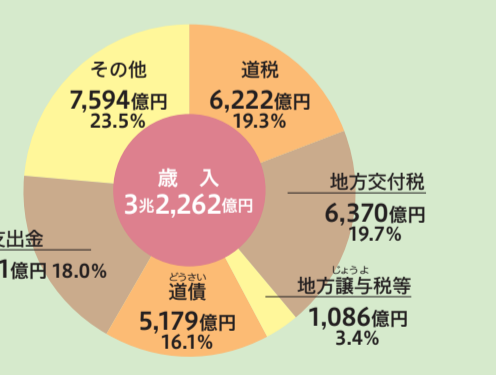
詳しくは公式サイトをチェック

令和4年度予算の概要

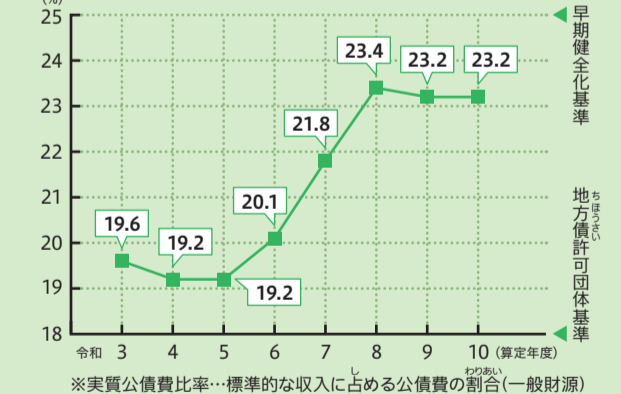
今年度予算は、昨年度と比較して268億円減の3兆2,262億円(一般会計)で、年間予算としては、過去5番目の規模となりました。予算編成に当たっては、引き続き多額の収支不足額が見込まれる財政状況の中、施策や事務事業の徹底した精査やスクラップ・アンド・ビルドなど、歳出の量的な削減と質の一層の向

上のほか、さらなる歳入の確保などに取り組んだうえで、なお生じる収支不足額に対しては財政調整基金の取り崩しにより、最終的な収支の均衡を図りました。道財政は、今後も収支不足額が見込まれ、実質公債費比率も高い水準で推移する見通しにあるなど、厳しい状況が続くことから、ことし3月に改訂した「行財政運営の基本方針」に基づいて、引き続き財政の健全化に向けた取り組みをしっかりと進めていきます。

●歳入・歳出の構成



●実質公債費比率の推移



特集に関するお問い合わせ／主重点政策▶道庁政策局 TEL.011-204-5132

地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

北海道内市町村広報紙(誌)ページへのリンク集▶

宗谷総合振興局

宗谷のサイクリングルートを動画で公開中!

宗谷総合振興局では、宗谷地域を公共交通機関と自転車とで巡るサイクリングルートを紹介した動画をウェブサイトで配信。ぜひ、ご覧ください。

宗谷総合振興局地域政策課 TEL.0162-33-2524

空知・岩見沢エリア

地元カメラ女子が、空知のワーケーションガイドを発信!

岩見沢市観光協会と北海道カメラ女子の会が協力し、リモートワークで働きながら休暇を過ごせる「そらちワーケーションガイド」を発信中です。

岩見沢市観光協会 TEL.0126-22-3470

音更町

「道の駅おとふけ」が移転オープン!

道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」のふる里が、4月に道東自動車道音更帯広インターチェンジの南側に移転開業。飲食9店、物販1店が入るなど、「食」の魅力が詰まっています。

道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」 TEL.0155-65-0822

重点政策の具体的な取り組み

主な施策を抜粋して紹介します。